

# 会 議 録

会議名称	第6期幸区区民会議 第6回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）
日 時	平成29年4月25日（火）18：30～20：00
会 場	幸区役所 4階第4会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区民会議委員（50音順） 阿部稔子委員（副部会長）、伊藤善通委員、神谷修委員（部会長）、佐野禎彦委員、高橋希委員、中原敏子委員、成川慎一委員（全体会議委員長）、松井節子委員（全体会議副委員長）</li> <li>●事務局 幸区役所 田村副区长、幸区役所まちづくり推進部企画課 岸課長、吉岡課長補佐、山口係長、中村職員、安藤職員 (株)社会空間研究所 田上氏、柳澤氏</li> </ul>
欠席者	大野勝彦委員
傍聴者	なし
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資料1 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ</li> <li>●資料2-1 アンケート調査報告「保育園等保護者アンケート全体まとめ」</li> <li>●資料2-2 アンケート調査報告「保育園等保護者アンケート地区別まとめ」</li> <li>●資料3 ヒアリング調査報告「幸区子ども会連合会」</li> <li>●資料4-1 アンケート調査報告「幸区PTA協議会アンケート全体まとめ」</li> <li>●資料4-2 アンケート調査報告「幸区PTA協議会アンケート地区別まとめ」</li> <li>●資料5 地域資源の検証について</li> <li>●資料6 今後の調査について</li> <li>●参考資料1 第5回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）会議録</li> <li>●参考資料2 第3回全体会議会議録</li> <li>●参考資料3 第6期幸区区民会議だより第3号</li> <li>●参考資料4 第6期幸区区民会議委員・参与名簿</li> </ul>
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) アンケート調査等の報告について</li> <li>(2) 地域資源の検証について</li> </ul>

<p>決定事項</p>	<p><b>(1) アンケート調査等の報告について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員からの提案を踏まえ、判断材料となるように傾向が分かるような資料として事務局が整理することとする。</li> </ul> <p><b>(2) 地域資源の検証について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査は充分と判断し、今後は現地への調査を行うこととする。</li> </ul>
<p>会議の内容 及び 主な発言</p>	<p><b>(1) アンケート調査等の報告について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●事務局より資料1から資料5について説明した。</li> <li>○資料1から資料4及び現地調査を行った委員からの報告により、アンケート及びヒアリング調査の結果について確認・共有した。</li> <li>○委員からの提案を踏まえ、判断材料となるように傾向が分かるような資料として事務局が整理することとする。</li> </ul> <p><b>(2) 地域資源の検証について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●事務局より資料6について説明した。</li> <li>○アンケート調査は充分と判断し、今後は現地への調査を行うこととする。</li> <li>○調査結果から夢見ヶ崎動物公園、南河原公園等の大規模な公園が重要とする意見が出た。</li> </ul> <p>&lt;子ども会連合会へのヒアリング調査について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会関係の方が来るということでもう少し沢山の人が来るのかなと思った。先ほどの報告にもあったように、皆さん地域性はあるが、住んでいる場所にすごく自信を持っている。住んでいて良かったという意見があった。その地域に住むことによって自信を持つというか、誇りを持っていた方が多い。</li> <li>・3人で行ったが、10人からしか回答を得られなかった。</li> </ul> <p>&lt;アンケート調査等の報告及び地域資源の検証について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園等の保護者向けのアンケートやヒアリング、PTA協議会へのアンケートも返ってきて、これで500件程度のアンケートが集まった。報告だと夢見ヶ崎公園や南河原公園という公園があることが子育て世代にとってメリットであるのかもしれない。実際にこの部会でこういう情報発信をしていくのもいいのかもしれない。</li> <li>・読み込みをしてきたが情報量が多いので整理をして話さないといけない。</li> <li>・これまでの区民会議の時に出た話だが、年齢層に応じて回答が偏っている。そうではないかと思う。自分の肝いりである御幸公園の数が少ないというのは気になる部分もあるが、数の順番で行けば夢見ヶ崎動物公園が幸区においては一</li> </ul>

番のイベント場所だというのは誰もが認めている部分である。御幸公園は良いところであるが梅も育っていないし、これからの場所であることもはっきりした。アンケートから出るものについては出尽くしたと思っている。これ以上やっても数の多い少ないだけであって、新しい場所は出てこないのではないかとと思う。これからは「どこで、どういう媒体で知りましたか」という所が一番ポイントになってくる。これからは集約しテーマごとにまとめるのはどうか。例えば「いつイベントがある、どこにある」という内訳、広場であれば広い順番に並べるであるとか、テーマ別にPRするという形で、見方を変えて集計の方に絞っていった方が良いと思う。夢見ヶ崎動物公園が一番だが、それがすべてではない。ますます交通規制が増えて、マンションからクレームが増えて、一旦停止や駐車場待ちもだめと言われて出されてしまう。それでいて駐車場の案内もない。なぜ、同じ市や区でやっっているながら出張所の前の駐車場を開放しないのか。それが出来ないのであればどこかの広場を借りて送迎バスを出すとか、これ以上客を増やそうとしたらそういう所しかないし、今の数で満足しているわけではない。さらに人を夢見ヶ崎動物公園に集めるにはどうしたら集まるかということではないか。一方、御幸公園で言えば交通の便が悪い。バスで行くしかない。もっと便を良くしないと人は集まらない。行っても駐車場がないのですぐ帰ってしまう。どうするかという二面性を持って、公園にいかにか今以上に人を集めるかという考えに知恵を絞っていく。後はテーマ別に分けて、いつやっているかということも書いてあげないと、終わってから知っても遅い。いつイベントがありますよということをテーマごとにやるということも今後の重要課題だと思っている。これだけのデータが出たというのは我々にとって非常に重要な財産なので、これをいかに活用するかという方向に変えていく必要があると思う。

⇒今は調査ごとに並べているだけで非常に見にくい。委員の方もトレンド等を整理しにくい素材になっている。時間の関係でこのような形になっているが、次回は調査結果の検証をやっていく予定になっているので、テーマという話もあり、全体をブラッシュアップしてどうか、地区ごとにどうかなど、それから少数意見でも各分野で少しずつ出ているものもある。なのでキーワード、例えば「電車が見える場所」として見たときに、少数意見だが各分野で出ていたりして、意外にそういう場所もあり、コミュニティカフェや相談できる場所もある。色々なカテゴリーで整理していく情報を、今の素材ではなかなかそこまで見ることができないので、その情報の整理は再度事務局がし、それを踏まえながら整理して頂けたらと思う。

- ・公園が色々あり、駐車場の問題、交通アクセスの問題もある。他にはこども文化センターや子育てフェアなど、そういうものの情報を欲しがっているのか、という所があって、できれば「何月にこういう所でこういうことをやっている」

というのが、一覧にイベントカレンダーという形になって出ていけば、それはそれでいいのかなと思う。発信の方法が意外と口コミが一番多かった。もう少しSNS等があるのかなと思ったらそれほどでもないの、市政だより等で情報を発信していくことも今まで以上に必要なことになってくるのかと思う。

- 場所的な面では「広いところ」、「緑が多いところ」に魅力がある。先ほど出た御幸公園の場合は交通の便が悪いというのが一番あり、駐車場が狭いというのもある。こういう場所の魅力だけではなく、色々情報を得られる場所、この中には赤ちゃん相談などもあったが、赤ちゃん相談をやっている間に母親たちの情報交換の場所に集まっていただけ何かがあればいいのかなと思う。子ども会はその中の一つになるのかなと思う。なかなかそのあたりの所は難しい。場所的なものではなく、情報を交換できるという魅力も必要なのかなというのが課題だと思う。
- 幸区ガイドマップと、おこさまっぷに全て羅列してある。これを越えるものをどう持っていくかという所がある。今から逐一洗い出して、これを越えるものをつくれるとは思えない。この会で、区民会議の提言というのはまた違う方向性を取らなければ、ガイドマップでいいのではないかという話になる。夢見ヶ崎についても、良いところも悪いところも全部知っている。わざわざ集まって検討する内容だろうか。
- 夢見ヶ崎に久々に行ったらすごくよくなっていたが、やはり駐車場、交通の便がどうかという所がある。どこか開放してくれるところがあれば、皆さんが行きやすくなる。それから外部から来た方が、夢見ヶ崎動物公園は無料だという話をすると驚く。100円でも200円でも取ればいいのに、という話を聞く。
- 餌やり等もやっていて、川崎市内で唯一の動物園ということで、発信していく。
- アンケートを見ていて、公園が沢山出ていて、特に広めの公園、そこに人気が集まるということは、地域にある公園が充実していないのではないかと思った。夢見ヶ崎公園はわざわざ外から来る人も多い。地域にある公園を見直し、洗い直した方が良いのではないか。
- 口コミで情報を得た人は、最初は何で知ったのか、ネットで調べたのか、市政だよりなのか、そこの最初の入り口が見やすいと食いつきが良くないのではないか。区の物、市の物というのはすごく見づらい。情報だけ羅列するというのは、文字が細かく、色々な情報があるけれどすごく見づらいので、逆にそれを大きな字にするなど、見てわかるような、行ってみようかなというようになるのではないか。口コミをする人というのは行ってみようと思うかもしれないが、出不精の人間はもう少し綺麗にわかりやすくないと、怪しいなと思ってしまう。もう少し見やすくすると、ちょっと行ってみようかな、と思っている人が行こうかなと、思うのではないか。

・アンケート調査について、PTAの物は読んでいないのでそれ以外の二つについて、時間がないのでペーパーにまとめたのでそれを読ませてもらう。検証の視点について、傾向分析として対象が子育て世代の為、「近い、便利」「楽しめる、遊べる」というのが選択の基準になっていて、広めの公園、子育て支援施設、エンターテインメント系のラゾーナに集中している。少ないスポットで発掘があるかということに関してはいくつかあるが、特筆するところまではない。ターゲットに知ってほしい資源が発掘できたかという視点については、新しい発掘はなかった。個人的には親子食堂や親子のたまり場というのがあったので、興味がある。複合的に利用できるような紹介が有効ではないか。4点目として住み続けてもらうという魅力発信ができたかという所で、上のように一つのスポットではなくて、複合的にスポットを利用する魅力を訴求することがいいのではないか。情報は今見たように口コミが圧倒的で、これから課題の発信方法は個人への働きかけ、情報交換の場の提供・活用が不可欠だろう。今、各地域で動画をつくって流しているが、あれはかなり有効らしいので検討の余地があるのではないか。

今後どういう調査をしたらいいかという事で、一つは対象を広げるかという課題があるが、これは子育て世代以外にどうするかなのだが、今回は子育て世代にターゲットを絞ったので、あえてこれ以上は広げない。子育て世代以外についてはこれまで行政が蓄積しているデータがあると思うのでそれを活用できないか。重要な所は魅力の掘り下げだが、今出たように「公園の魅力度アップ」、もう一つは「子育て支援の整備、充実」。この二点にフォーカスして掘り下げたらどうか。これからすると、公園の現地調査と子育て支援センターへのヒアリングをするのはどうか。注釈として提言までもう1年を切っているので、これまでの議論を踏まえて、現時点での仮説を立てた上でそれを検証して具体化していく作業に取り掛かっていくのが良いのではないか。次が仮設の設定という事で、「住みたい、住み続けたい」という子育て世代の要望に応える魅力度アップの施策として、大きく次の二つのテーマに絞ったらどうか。抜本的な待機児童問題の解決についてはここでは対応できない。一つは「子育ての環境」、二つは「子育て支援」という大きい区切りをつくって、環境については公園の整備充実とレジャー文化面の強みのアピール。具体的には色々欠点はあるけれど、三大拠点公園として夢見ヶ崎、南河原、御幸、それぞれの魅力度をアップする。この3つを年間通じて三大公園祭りのようなものやってもいいかもしれない。中身としては施設、遊具、イベントで他にない、幸区以外にない優位性の高い地位が確立できれば。今までの議論で出ているアクセスの対策も必要である。

二つ目は利便性の強みを生かしてレジャー、音楽、科学とエンターテインメント面から西口のラゾーナ川崎、ミュージア川崎、東芝未来科学館を3点セットと

して前面に打ち出したPRもいいのではないかと。先ほど読んだPTAのアンケートの中で、自由意見として西口の所は川崎地区という色合いが強くて、幸区という位置づけでは必ずしもないという意見があった。幸区の魅力として再設定すればいいのではないかと。小さいが、さいわい緑道と二ヶ領用水、これらの四季に応じた魅力度アップの取組も考えられるのではないかと。

子育て支援については、施設とサービス面の強化に尽きると思うが、子育て支援センター、特に今回はかんがる一に魅力を感じた。子育て支援センターを中核にして、こども文化センター、市営保育園との連携できめ細かい対応が出来るのではないかと。かんがる一とどりーむ保育園の取組をモデルとして、区内への展開を模索したらどうか。保育園でも抱えている園児以外へのサービスを行っているところもあったので、そういったものを体系化して、他の施設への普及を図る。

先ほど意見で出ていたようにおこさまっぷはとてもよくできているので、上記の趣旨に沿って更なる工夫改良を加え、子育て世代にとって必須のアイテムにして、これを区外への口コミの媒体として役割を活かすことを期待できるのではないかと。

子育て支援センターは7つあったが、ふるいちばのような単独型、かんがる一のような保育園併設型、そして児童館型と3つの類型に分かれているので、今後の調査として類型3つを深掘りするのも良いのではないかと。たまたま前期の区民会議でふるいちばは見えてきた。

以上がアンケート調査に対する感想で、皆さんの意見と重複している部分があると思うが、今回と次回でかなり整理をしていかないと次に行かないと思うので、仮説をつくった方が良いのではないかと。

- ・今ご意見を頂いたが、これ以上アンケートをやっても違う結果が出てくるとは思えない。この部会がターゲットにしているのは子育て世代で、将来的にも幸区に住んでもらうための魅力発信である。今挙がっている公園を今後どうやっていくか。それから子育てに対してどういう施策があるのか、地域ごとに保育園などいろいろなことをやっている。そのあたりについても今後は実際に伺ってどんな施策があるのか聞きながらまとめていくという形ではどうか。
- ・幸区は川崎の西口には沢山のエンターテイメントがあるが、あの辺りは川崎という感じで幸区という感覚がなくなってしまう。ラゾーナ・ミュージアム・東芝未来科学館、それを一つのポイントとしながら、幸区はこんなに大きな公園がありますよという形で情報発信していく。なおかつ、各施設の子育て支援の活動に携わっていくような団体も掘り下げていければ。
- ・公園が今ちょっとテーマになっている。子育てを切り口にしたときに、わかりやすくいうと公園は「子育て環境」としている。「子育て支援」はもう少しサービス的な方向。施設への普及というのは、やっていないところもやってもら

うという意味。

- ・絞っていくと切られてしまう所もある。先ほど言われた地域の公園という話は漏らすべきではないが、ここでそこまで手を広げるのは無理だと思う。そういう絞り込みは必要だと思う。検討のたたき台をつかった方が話がはやいと思う。
- ・地域の公園はいっぱいあるが、ボール遊びをしてはいけないなど、小さい公園は制約が多い。昔はキャッチボールをやったり、ドッジボールをやったりできたが、今は小さい子ども達が遊ぶような公園ではキャッチボールはできない。網を掲げて中でキャッチボールをやるところもあるようだが、基本的には今アンケートで出てきた三つの大きな拠点の公園の整理、情報発信する先のターゲットとしての子育て世代には幸区には子育て支援の施策が充実しているよということが持ってこれる方向性なのではないかと思う。
- ・三つの公園は外せないと思う。今回のアンケートで分かったのは、小さな公園でもこんなイベントがある公園なんだな、というのが分かった。例えば公園での祭りなどの情報を提供する、今のマップには公園の名前しか出ていないので、公園のイベントをまとめたものを出す。どちらに絞るかというのは、やはりこれは両方必要だと思う。最初は公園で始まったけれど年齢層を絞っていく上で2番の子育て支援が多く出てきた。そうしたら2番の子育て支援の必要性というのは絶対あるので、そうなった場合に無料で開放している園庭があったりすると探してみよう、となる親もいるので、並行して持っていければ。1番の公園について、三大公園についてはそれ以上のものをやるためには提案を重ねることだと思う。  
⇒今の資料ではわかりにくく、分析が難しいので、次の会議に向けてどのような資料をつくる必要があるか。例えば子育て環境と子育て支援にフォーカスして分析できるようなものを仕上げた方が良いのか、指摘を頂ければ。
- ・すっきりさせないと話が進まないなので枝葉を切ってこういう風にしたが、これがベストとは思っていない。事務局としてこれはこれとして、枝を増やすとか、これを切るとか、これをたたき台にしてさらにブラッシュアップした調査材料、検討材料を出したら良いのではないか。  
⇒今調査を整理している内容というのが基本ベースなので、少しアレンジして、傾向が分かるような資料があった方が良いか。
- ・あまり細部に入りこんでしまうと時間が無くなってしまう。シャープな答申がしたいので、どこかで枝を切らなくてはいけない。  
⇒今回の提案を参考に、必要となるような情報を整理させていただく。
- ・アンケート調査の目的は何だったのか。それを使って何をしたかったかという所が成川委員の話で分かってきたが、道具は皆さんの子育てに役立つよ、どうやって役立つかという落としどころが少しはっきりしたと思う。これ以上いろ

んなものを提示しても結局3大公園にまとまってしまわないか。  
⇒魅力度アップや、どう今の魅力をよくしていくかという視点での部分だけを切り抜いて整理するというのもできるかと思うので、判断材料になるようにする。

- ・生の声を聞きすぎてしまっている。アンケート結果については、団体など関係なくすべてまとめて集計してはどうか。
- ・もう数はいらないと思う。
- ・町内会で子育て支援はかならずやっているわけだから、それらのイベントをカレンダーにしてここに行けばこういうことをやっている、というのが必要になってくると思う。せつかく同じ幸区の中で共通認識としてできていくのではないか。
- ・現地調査を改めてやるにあたって、子育て支援センターへの訪問とヒアリングは組んでほしい。
- ・これ以上、アンケート調査は行わない。
- ・実際に三大公園に行って、目で見て意見を出し合えれば良いと思う。
- ・個人的にはかんがる一をやってほしい。

以上